

フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号)

第32作成期

第186期 (決算日 2017年10月16日)
 第187期 (決算日 2017年11月15日)
 第188期 (決算日 2017年12月15日)
 第189期 (決算日 2018年1月15日)
 第190期 (決算日 2018年2月15日)
 第191期 (決算日 2018年3月15日)

運用報告書 (全体版)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド(愛称：メイフラワー号)」は2018年3月15日に第191期の決算を行いました。ここに、第186期から第191期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



FRANKLIN TEMPLETON
INVESTMENTS

フランクリン・テンプルトン・インベストメンツ株式会社

東京都港区六本木1丁目9番10号

〈お問い合わせ先〉

お客様ダイヤル

電話番号：03-6230-5699

受付時間：9:00～17:00

(土・日・祝日および12月31日・1月2日・1月3日を除きます。)

<http://www.franklintempleton.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するお問い合わせは、お申込みされた販売会社までお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。		
商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	主としてフランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券(政府抵当金庫パス・スルー証券)等の米国高格付け証券に実質的な投資を行い、信託財産の着実な成長と安定的な収益確保を図ることを目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。	
主要投資対象	フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド	フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 主として「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド(米国籍投資法人)」、「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズ・フランクリン U.S.ガバメント・ファンド(ルクセンブルク籍投資法人)」および「フランクリン・テンプルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド(バミューダ籍投資法人)」等への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。
	フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
組入制限	フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	毎月15日(ただし、15日が休業日のときは翌営業日とします。)に決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が配当等収益を中心に基準価額水準等を勘案して決定します。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	
分配方針		



●最近5作成期の運用実績

決 算 期		基 準 価 額 (分 配 落)	税 引 前 分 配 金	期 中 騰 落 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		円	円	%	%	百万円
第28 作成期	162期 (2015年10月15日)	8,340	14	△1.0	98.9	35,347
	163期 (2015年11月16日)	8,540	14	2.6	99.2	35,799
	164期 (2015年12月15日)	8,439	14	△1.0	98.7	34,766
	165期 (2016年 1月15日)	8,234	14	△2.3	99.0	33,531
	166期 (2016年 2月15日)	7,924	14	△3.6	98.8	32,062
	167期 (2016年 3月15日)	7,948	14	0.5	98.8	31,983
第29 作成期	168期 (2016年 4月15日)	7,672	13	△3.3	98.9	30,579
	169期 (2016年 5月16日)	7,621	13	△0.5	98.7	30,167
	170期 (2016年 6月15日)	7,423	13	△2.4	98.9	29,192
	171期 (2016年 7月15日)	7,399	13	△0.1	98.8	28,876
	172期 (2016年 8月15日)	7,095	12	△3.9	98.7	27,542
第30 作成期	173期 (2016年 9月15日)	7,171	12	1.2	98.9	27,787
	174期 (2016年10月17日)	7,263	12	1.5	98.9	27,902
	175期 (2016年11月15日)	7,451	12	2.8	98.9	28,564
	176期 (2016年12月15日)	8,035	13	8.0	98.6	29,987
	177期 (2017年 1月16日)	7,798	13	△2.8	98.8	28,435
	178期 (2017年 2月15日)	7,809	13	0.3	98.8	28,153
第31 作成期	179期 (2017年 3月15日)	7,759	13	△0.5	98.7	27,599
	180期 (2017年 4月17日)	7,405	13	△4.4	98.6	26,166
	181期 (2017年 5月15日)	7,730	13	4.6	98.7	26,958
	182期 (2017年 6月15日)	7,491	13	△2.9	98.2	26,189
	183期 (2017年 7月18日)	7,627	13	2.0	98.6	26,334
	184期 (2017年 8月15日)	7,479	13	△1.8	97.8	26,092
	185期 (2017年 9月15日)	7,490	13	0.3	98.3	25,950
第32 作成期	186期 (2017年10月16日)	7,595	13	1.6	98.5	25,872
	187期 (2017年11月15日)	7,645	13	0.8	98.7	25,604
	188期 (2017年12月15日)	7,558	13	△1.0	99.0	25,172
	189期 (2018年 1月15日)	7,410	13	△1.8	98.5	24,504
	190期 (2018年 2月15日)	7,035	12	△4.9	98.3	23,352
	191期 (2018年 3月15日)	6,994	12	△0.4	98.7	23,119

(注) 基準価額 (1万円当たり) の期中騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドは、「フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド」(以下「マザーファンド」) の受益証券を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) マザーファンドを通じて投資をする投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

●過去6ヵ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基準価額		投資信託証券 組入比率
		円	騰落率	
第186期	(期首) 2017年9月15日	7,490	—	98.3
	9月末	7,646	2.1	98.7
	(期末) 2017年10月16日	7,608	1.6	98.5
第187期	(期首) 2017年10月16日	7,595	—	98.5
	10月末	7,646	0.7	98.4
	(期末) 2017年11月15日	7,658	0.8	98.7
第188期	(期首) 2017年11月15日	7,645	—	98.7
	11月末	7,547	△1.3	98.2
	(期末) 2017年12月15日	7,571	△1.0	99.0

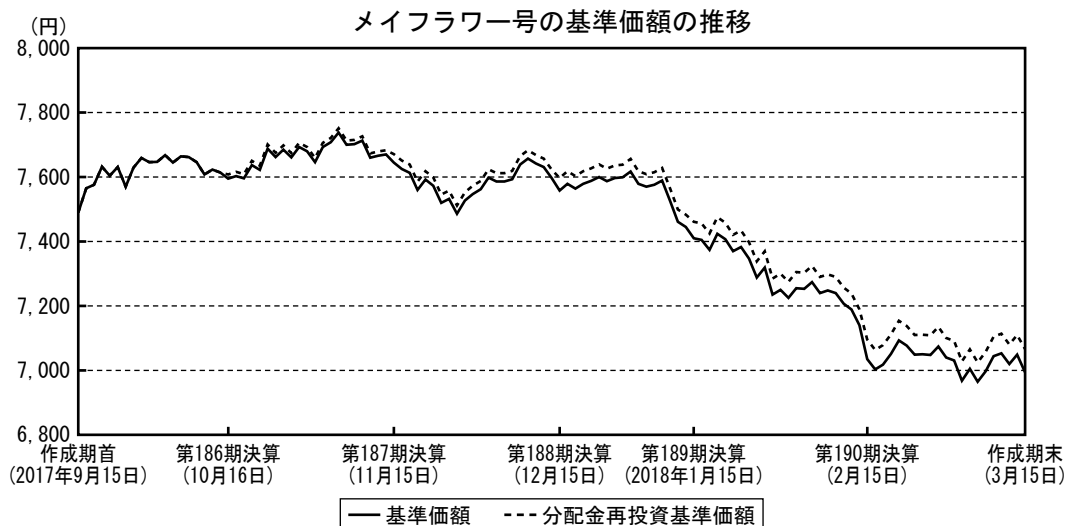
決算期	年 月 日	基準価額		投資信託証券 組入比率
		円	騰落率	
第189期	(期首) 2017年12月15日	7,558	—	99.0
	12月末	7,579	0.3	98.5
	(期末) 2018年1月15日	7,423	△1.8	98.5
第190期	(期首) 2018年1月15日	7,410	—	98.5
	1月末	7,225	△2.5	98.2
	(期末) 2018年2月15日	7,047	△4.9	98.3
第191期	(期首) 2018年2月15日	7,035	—	98.3
	2月末	7,074	0.6	98.4
	(期末) 2018年3月15日	7,006	△0.4	98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

●当作成期の運用経過 (2017年9月16日～2018年3月15日)

◎運用実績

○基準価額の推移





当作成期末の基準価額は、当作成期首の7,490円から496円値下がりして6,994円となりました。なお、当作成期中に支払った分配金の額は1万口当たり76円（税引前）でした。分配金再投資ベースの騰落率は-5.7%となりました。

○基準価額の主な変動要因

「フランクリン・templton 米国政府証券マザーファンド」（以下、「マザーファンド」）を通じて投資した投資対象ファンドである「フランクリン・templton U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド（バミューダ籍投資法人）」および「フランクリン・templton インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」の分配金再投資基準価額が下落したこと、米ドルが対円で下落しマザーファンドの基準価額が下落したことから、当ファンドの分配金再投資基準価額は下落しました。詳しくは「投資環境」をご参照ください。

なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

- ・投資を行っている米国高格付け証券（米国ジニーメイ・パス・スルー証券等）からのインカム
- ・投資を行っている米国高格付け証券（米国ジニーメイ・パス・スルー証券等）の価格変動

◎分配金

当ファンドは、当作成期中の毎決算時に配当等収益を中心に以下の収益分配を行いました。

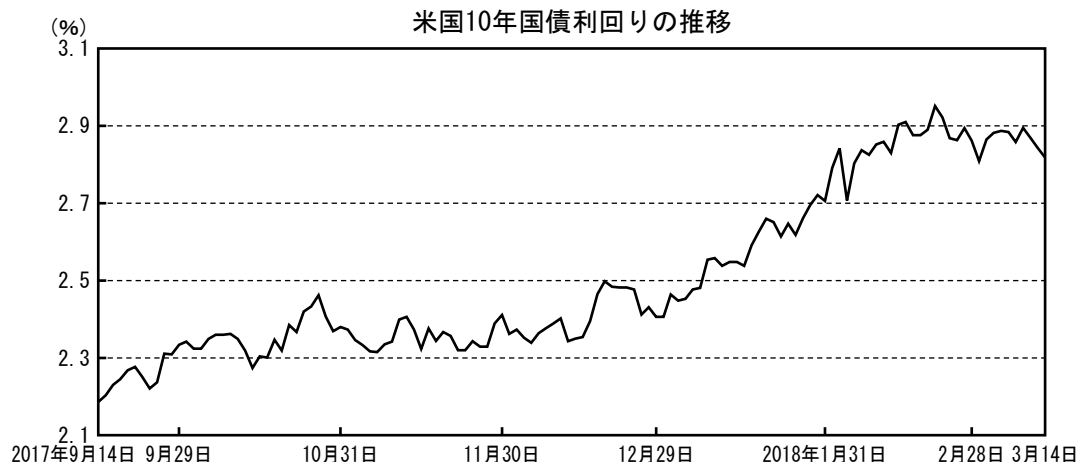
なお、留保された収益の運用につきましては、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

第 186 期 2017年10月16日	第 187 期 2017年11月15日	第 188 期 2017年12月15日	第 189 期 2018年1月15日	第 190 期 2018年2月15日	第 191 期 2018年3月15日	当作成期間合計
13円	13円	13円	13円	12円	12円	76円

（注）各期の分配金の金額は1万口当たり、税引前です。

◎投資環境

(米国債券市場とジニーメイ・パス・スルー証券市場)



※出所：Bloomberg 米国10年国債利回りは、当作成期首の前営業日から期末の前営業日の期間（現地日付ベース）のものです。

米国10年国債利回りは当作成期首の2.1%台後半から2.8%台前半まで上昇（価格は下落）して当作成期末を迎えました。

当作成期首から2017年10月下旬にかけては、米国経済の堅調さを背景とした米連邦準備理事会（FRB）による追加利上げ観測の高まりや、次期FRB議長が金融引き締め推進派から指名される可能性への警戒感などから、米国10年国債利回りは2.4%台後半まで上昇しました。

11月以降は、米国の次期FRB議長の人選を巡る思惑や、12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）が市場予想通りであったことから債券市場は動意に乏しく、12月中旬まで利回りは2.3%から2.4%程度のレンジ内での動きに終始しました。

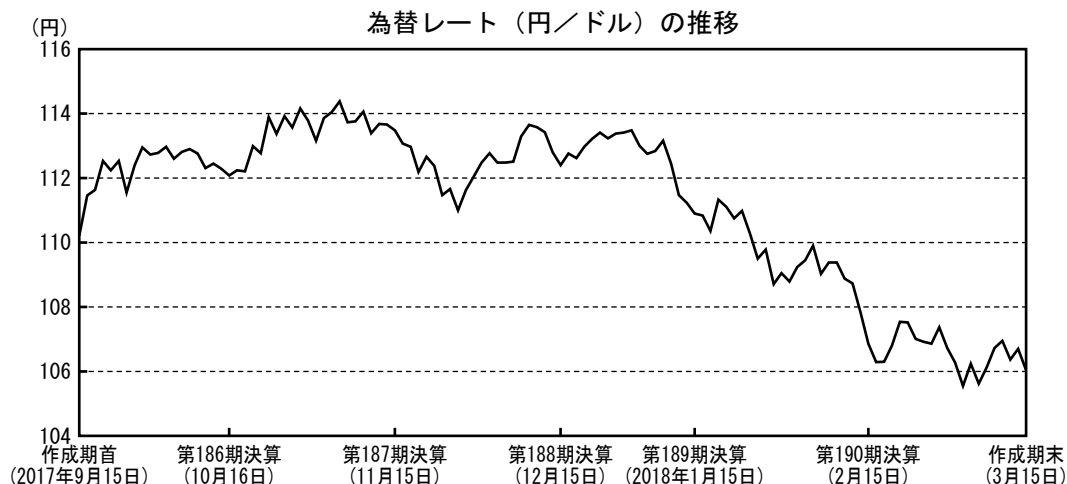
その後、12月下旬に米税制改革法が成立したことを受け利回りは再び上昇し、2018年に入ると、米国経済の堅調さに加え、企業収益の改善期待から米国株式市場が堅調に推移したことや、期待インフレ率が上昇したことなどから利回りは上昇基調を強めました。

2月には、好調な1月の米雇用統計や歳出拡大に伴う米財政赤字懸念などを背景に、利回りはさらに上昇し、2.8%台前半の水準で当作成期末を迎えました。

当作成期、米国ジニーメイ・パス・スルー証券市場は下落しました。代表的な住宅ローン金利のひとつである米国連邦住宅貸付抵当公社の30年ローン金利（固定）の平均値は、2017年9月半ばの3.7%台後半から2018年3月半ばには4.4%台後半まで上昇しました。住宅ローンの期限前返済による借り換え件数は減少しました。



(外国為替市場)



※為替レートは、三菱東京UFJ銀行対顧客電信売買相場の仲値です。

当作成期首から2017年11月上旬にかけては、北朝鮮情勢への警戒感の後退や、9月のFOMCでのバランスシート縮小開始決定、FRBの追加利上げ観測の高まりなどから、米ドルは対円で上昇し、当作成期首の1米ドル110.21円から114円台半ば近くまで円安ドル高が進みました。その後、米税制改革の先行きに不透明感が高まったことなどを背景に、11月下旬には111円台まで米ドルは下落しました。年末にかけては1米ドル113円を挟む展開となりました。

2018年に入ると、日本銀行（日銀）が質的・量的緩和政策の出口戦略を模索しているとの思惑などを背景に円高ドル安が進み、その後も、世界的な株安を受けた投資家のリスク回避姿勢などから、円高ドル安が加速し、1米ドル106.04円で当作成期を終えました。

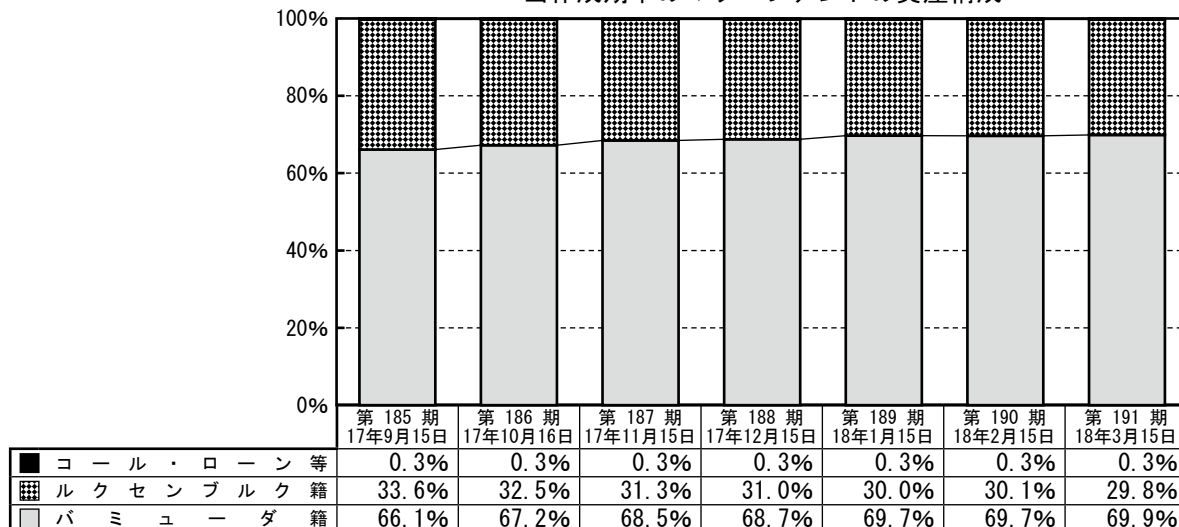
結果的に、作成期を通じてみると、米ドルは対円で下落しました。

○運用経過

（フランクリン・テンプレトン 米国政府証券ファンド（愛称：メイフラワー号））

当ファンドでは、当作成期を通じてマザーファンドを高位に組入れ、当作成期末における組入比率は99.0%となりました。マザーファンドにおける当作成期末の投資対象ファンドの組入比率は、「フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド（バミューダ籍投資法人）」が69.9%、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」が29.8%、「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド（米国籍投資法人）」が0%となりました。

当作成期中のマザーファンドの資産構成



※ルクセンブルク籍：フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド

バミューダ籍：フランクリン・テンプレートン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド

※構成比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※比率は四捨五入しておりますので、合計数字が100%にならない場合があります。

*投資対象ファンドのうち米国籍投資法人への配分は0としています。米国における外国人投資家への税制優遇措置の継続が不透明な状況となったことを受け、マザーファンドに対する影響を勘案し、他の投資対象ファンドへ配分することが受益者の皆様の利益に資すると判断したためです。

(フランクリン・テンプレートン 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

当作成期も、独自の分析手法を用いて、証券価格が割安に推移していると判断される米国ジニーメイ・パス・スルー証券に着目して投資を行いました。

証券化プログラム*の違いによる証券価格形成に着目した投資では、当作成期はジニーメイIIの組入比率がジニーメイIの組入比率を上回りました。

また、クーポン別の組入れでは、4.0%と4.5%のクーポン**を持つ証券の比率を引き上げ、3.5%のクーポンを持つ証券の比率を引き下げましたが、組入れの中心は3.5%－5.0%のクーポンを持つ証券となっています。

*証券化プログラムとは、住宅ローンに条件（金利、ローンの対象となる住宅等、ローンの開始日など）によって分類し、米国ジニーメイ・パス・スルー証券を組成していく工程のことです。米国ジニーメイ・パス・スルー証券には、ジニーメイIとジニーメイIIの2種類の証券化プログラムがあります。

**クーポンとは、証券の額面に対する単年の利息の割合です。

※上記コメントは、マザーファンドにおける投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。



◎今後の運用方針

(フランクリン・templton 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号))

当ファンドは、「運用の基本方針」に基づき、引き続きフランクリン・templton 米国政府証券マザーファンドへの投資を通じて、主に「フランクリン・templton U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」、「フランクリン・templton・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」に投資を行う方針です。「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」への投資については、米国における外国人投資家への税制優遇の状況を勘案しながら判断してまいります。

(フランクリン・templton 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

2018年2月末時点において、米国国債利回りが5年債、10年債でそれぞれ2.6%、2.9%程度であったのに対し、米国ジニーメイ・パス・スルー証券の利回りは3.4%程度と相対的に魅力的な利回り水準にありました。

住宅ローン担保証券 (MBS) の割安感は薄れつつあるものの、MBSのファンダメンタルズや期限前償還は落ち着くとみています。一方、2018年はMBSにとって極めて重要な年になると考えています。米国ジニーメイ・パス・スルー証券を含むエージェンシーMBS (米国政府または政府関連機関が元利支払い保証している住宅ローン担保証券) 市場は、2018年もFRBのバランスシート縮小の影響を大きく受けるとみられます。2018年のMBSの純供給額は2017年と同水準になると思われませんが、FRBのバランスシート縮小に伴い、新たに1,700億ドル程度のMBSが市場に供給される見込みです。MBSの供給額は金融危機以降で最高水準になるとみられ、民間部門が吸収する必要があります。マクロ環境などのファンダメンタルズが健全であることから2018年前半については、この供給を十分吸収することは可能であると考えますが、年後半については、厳しい環境になる可能性があります。

米国ジニーメイ・パス・スルー証券は米国政府が元利金の期日通りの支払いを保証する住宅ローン担保証券であり、実質的に米国国債と同等の信用力を有すると考えられています。上記の投資環境の下において、より有利な投資機会の発掘のために同証券を構成する住宅ローンに対する精査を徹底してまいります。期限前償還リスクを適切に評価し、投資対象証券の本来の価値と市場価値との乖離を特定することで、より投資妙味のある証券への投資を行う方針です。

※上記コメントは、投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

引き続きメイフラワー号をご愛顧くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

●1万口当たりの費用明細

項目	当作成期 2017年9月16日～2018年3月15日		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
(a) 信託報酬	28	0.375	(a) 信託報酬＝〔作成期間の平均基準価額〕×信託報酬率、作成期間の平均基準価額は7,452円です。 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
（投信会社）	(10)	(0.139)	
（販売会社）	(16)	(0.214)	
（受託会社）	(2)	(0.021)	
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用＝ $\frac{〔作成期間のその他費用〕}{〔作成期間の平均受益権口数〕}$ その他費用 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、金銭信託預入に係る手数料等
（保管費用）	(0)	(0.000)	
（監査費用）	(0)	(0.003)	
（その他）	(0)	(0.000)	
合計	28	0.378	

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。各項目の費用は、マザーファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「マザーファンドの組入上位ファンドの概要」に表示しております。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

●売買及び取引の状況（2017年9月16日から2018年3月15日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 186 期		第 191 期	
	設 定	定 額	解 除	約 約
	口 数	金 額	口 数	金 額
フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 929,689	千円 1,419,334

(注) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

●利害関係人との取引状況等（2017年9月16日から2018年3月15日まで）

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

●投資信託財産と委託会社との間の取引状況（2017年9月16日から2018年3月15日まで）

委託会社が行う第二種金融商品取引業に係る業務において、当期中の投資信託財産との取引はありません。



●組入資産の明細

(1) 親投資信託残高

種 類	第 31 作 成 期 末 (2017年9月15日現在)	第 32 作 成 期 末 (2018年3月15日現在)	
	口 数	口 数	評 価 額
フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド	千口 17,060,646	千口 16,130,957	千円 22,884,989

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 親投資信託の2018年3月15日現在の受益権総口数は、16,130,957,253口です。

(2) フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの組入有価証券明細

下記は、フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド（16,130,957千口）が組み入れている投資対象ファンドの明細です。

外国投資証券

銘 柄	第 31 作 成 期 末 (2017年9月15日現在)	第 32 作 成 期 末 (2018年3月15日現在)		
	口 数	口 数	評 価 額	
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(ルクセンブルク) フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ フランクリン U.S.ガバメント・ファンド	千口 8,104	千口 6,873	千米ドル 64,404	千円 6,829,414
(バミューダ) フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド	15,948	16,161	150,786	15,989,372
合 計	口 数 ・ 金 額 24,052	23,034	215,190	22,818,787
銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	-	<99.7%>

(注) 外貨建資産の邦貨換算は、当作成期末のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。(1米ドル=106.04円)

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、マザーファンドの純資産総額（22,884,976千円）に対する外国投資証券の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

●投資信託財産の構成

(2018年3月15日現在)

項 目	第 32 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド	千円 22,884,989	% 98.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	337,488	1.5
投 資 信 託 財 産 総 額	23,222,477	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 当作成期末におけるフランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの外貨建純資産（22,884,976千円）の投資信託財産総額（22,900,390千円）に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産の評価額は、当作成期末のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。(1米ドル=106.04円)

●資産、負債、元本及び基準価額の状況

	(2017年10月16日)	(2017年11月15日)	(2017年12月15日)	(2018年1月15日)	(2018年2月15日)	(2018年3月15日)現在
項 目	第186期末	第187期末	第188期末	第189期末	第190期末	第191期末
(A) 資 産	26,000,134,644円	25,701,789,938円	25,309,019,420円	24,608,344,302円	23,437,465,158円	23,222,477,045円
コール・ローン等	445,001,928	370,544,814	322,320,580	389,862,239	404,672,873	337,487,991
フランクリン・テンブルトン 米国政府証券マザーファンド(詳細額)	25,555,132,716	25,331,245,124	24,986,698,840	24,218,482,063	23,032,792,285	22,884,989,054
(B) 負 債	127,740,084	97,679,929	136,876,850	103,472,152	84,870,440	102,683,754
未払収益分配金	44,284,566	43,540,733	43,298,984	42,993,526	39,832,051	39,669,195
未払解約金	66,526,583	37,937,058	77,673,102	44,235,017	29,389,391	49,371,719
未払信託報酬	16,798,511	16,077,377	15,782,466	16,118,256	15,527,821	13,537,872
未払利息	1,277	1,063	704	1,066	1,107	-
その他未払費用	129,147	123,698	121,594	124,287	120,070	104,968
(C) 純資産総額(A-B)	25,872,394,560	25,604,110,009	25,172,142,570	24,504,872,150	23,352,594,718	23,119,793,291
元 本	34,065,051,339	33,492,871,971	33,306,910,875	33,071,943,218	33,193,376,631	33,057,663,327
次期繰越損益金	△ 8,192,656,779	△ 7,888,761,962	△ 8,134,768,305	△ 8,567,071,068	△ 9,840,781,913	△ 9,937,870,036
(D) 受益権総口数	34,065,051,339口	33,492,871,971口	33,306,910,875口	33,071,943,218口	33,193,376,631口	33,057,663,327口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,595円	7,645円	7,558円	7,410円	7,035円	6,994円

●損益の状況

第186期 (自2017年9月16日 至2017年10月16日) 第189期 (自2017年12月16日 至2018年1月15日)
 第187期 (自2017年10月17日 至2017年11月15日) 第190期 (自2018年1月16日 至2018年2月15日)
 第188期 (自2017年11月16日 至2017年12月15日) 第191期 (自2018年2月16日 至2018年3月15日)

項 目	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期	第191期
(A) 配 当 等 収 益	△ 28,129円	△ 25,945円	△ 33,430円	△ 28,107円	△ 32,098円	△ 18,299円
受 取 利 息	24	-	-	-	-	-
支 払 利 息	△ 28,153	△ 25,945	△ 33,430	△ 28,107	△ 32,098	△ 18,299
(B) 有価証券売買損益	418,653,477	225,914,805	△ 228,979,249	△ 430,453,016	△ 1,181,782,907	△ 84,089,451
売 買 益	426,560,319	230,143,616	2,429,769	911,869	3,851,056	283,621
売 買 損	△ 7,906,842	△ 4,228,811	△ 231,409,018	△ 431,364,885	△ 1,185,633,963	△ 84,373,072
(C) 信 託 報 酬 等	△ 16,928,635	△ 16,204,243	△ 15,908,388	△ 16,242,543	△ 15,647,891	△ 13,642,840
(D) 当期損益金(A+B+C)	401,696,713	209,684,617	△ 244,921,067	△ 446,723,666	△ 1,197,462,896	△ 97,750,590
(E) 前期繰越損益金	△ 1,333,673,718	△ 959,073,307	△ 781,899,722	△ 1,059,952,708	△ 1,534,003,936	△ 2,745,303,400
(F) 追加信託差損益金	△ 7,216,395,208	△ 7,095,832,539	△ 7,064,648,532	△ 7,017,401,168	△ 7,069,483,030	△ 7,055,146,851
(配当等相当額)	(376,890,293)	(372,425,817)	(389,289,927)	(392,042,013)	(423,774,176)	(433,718,599)
(売買損益相当額)	(△ 7,593,285,501)	(△ 7,468,258,356)	(△ 7,453,938,459)	(△ 7,409,443,181)	(△ 7,493,257,206)	(△ 7,488,865,450)
(G) 計 (D+E+F)	△ 8,148,372,213	△ 7,845,221,229	△ 8,091,469,321	△ 8,524,077,542	△ 9,800,949,862	△ 9,898,200,841
(H) 収 益 分 配 金	△ 44,284,566	△ 43,540,733	△ 43,298,984	△ 42,993,526	△ 39,832,051	△ 39,669,195
次期繰越損益金(G+H)	△ 8,192,656,779	△ 7,888,761,962	△ 8,134,768,305	△ 8,567,071,068	△ 9,840,781,913	△ 9,937,870,036
追加信託差損益金	△ 7,216,395,208	△ 7,095,832,539	△ 7,064,648,532	△ 7,017,401,168	△ 7,069,483,030	△ 7,055,146,851
(配当等相当額)	(376,897,357)	(372,447,174)	(389,345,848)	(392,062,044)	(423,974,297)	(433,753,185)
(売買損益相当額)	(△ 7,593,292,565)	(△ 7,468,279,713)	(△ 7,453,994,380)	(△ 7,409,463,212)	(△ 7,493,457,327)	(△ 7,488,900,036)
分配準備積立金	2,297,656,732	2,262,693,905	2,225,011,794	2,196,688,577	2,169,098,245	2,146,650,352
繰 越 損 益 金	△ 3,273,918,303	△ 3,055,623,328	△ 3,295,131,567	△ 3,746,358,477	△ 4,940,397,128	△ 5,029,373,537

(注) (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。



<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

- (1) 当ファンドの第186期首元本額は34,646,225,756円、当作成期中(第186期から第191期)における追加設定元本額は1,049,350,007円、同期中における一部解約元本額は、2,637,912,436円です。
- (2) 貸借対照表上の純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は9,937,870,036円です。
- (3) 1口当たり純資産額は、第186期0.7595円、第187期0.7645円、第188期0.7558円、第189期0.7410円、第190期0.7035円、第191期0.6994円です。

(損益及び剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

- (1) 第186期(自2017年9月16日 至2017年10月16日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(50,849,451円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(376,897,357円)及び分配準備積立金(2,291,091,847円)より、分配対象収益は、2,718,838,655円であり、うち44,284,566円(一万口当たり13円)を分配金額としております。

- (2) 第187期(自2017年10月17日 至2017年11月15日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(49,030,928円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(372,447,174円)及び分配準備積立金(2,257,203,710円)より、分配対象収益は、2,678,681,812円であり、うち43,540,733円(一万口当たり13円)を分配金額としております。

- (3) 第188期(自2017年11月16日 至2017年12月15日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(37,091,100円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(389,345,848円)及び分配準備積立金(2,231,219,678円)より、分配対象収益は、2,657,656,626円であり、うち43,298,984円(一万口当たり13円)を分配金額としております。

- (4) 第189期(自2017年12月16日 至2018年1月15日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(35,809,851円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(392,062,044円)及び分配準備積立金(2,203,872,252円)より、分配対象収益は、2,631,744,147円であり、うち42,993,526円(一万口当たり13円)を分配金額としております。

- (5) 第190期(自2018年1月16日 至2018年2月15日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(34,448,548円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(423,974,297円)及び分配準備積立金(2,174,481,748円)より、分配対象収益は、2,632,904,593円であり、うち39,832,051円(一万口当たり12円)を分配金額としております。

- (6) 第191期(自2018年2月16日 至2018年3月15日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(37,567,987円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(433,753,185円)及び分配準備積立金(2,148,751,560円)より、分配対象収益は、2,620,072,732円であり、うち39,669,195円(一万口当たり12円)を分配金額としております。

●分配金のお知らせ（1万口当たり、税引前）

第1作成期 2002年3月26日～ 2002年9月17日	第2作成期 2002年9月18日～ 2003年3月17日	第3作成期 2003年3月18日～ 2003年9月16日	第4作成期 2003年9月17日～ 2004年3月15日	第5作成期 2004年3月16日～ 2004年9月15日	第6作成期 2004年9月16日～ 2005年3月15日
204円	223円	227円	209円	210円	197円
第7作成期 2005年3月16日～ 2005年9月15日	第8作成期 2005年9月16日～ 2006年3月15日	第9作成期 2006年3月16日～ 2006年9月15日	第10作成期 2006年9月16日～ 2007年3月15日	第11作成期 2007年3月16日～ 2007年9月18日	第12作成期 2007年9月19日～ 2008年3月17日
199円	208円	204円	210円	209円	192円
第13作成期 2008年3月18日～ 2008年9月16日	第14作成期 2008年9月17日～ 2009年3月16日	第15作成期 2009年3月17日～ 2009年9月15日	第16作成期 2009年9月16日～ 2010年3月15日	第17作成期 2010年3月16日～ 2010年9月15日	第18作成期 2010年9月16日～ 2011年3月15日
183円	154円	141円	134円	126円	112円
第19作成期 2011年3月16日～ 2011年9月15日	第20作成期 2011年9月16日～ 2012年3月15日	第21作成期 2012年3月16日～ 2012年9月18日	第22作成期 2012年9月19日～ 2013年3月15日	第23作成期 2013年3月16日～ 2013年9月17日	第24作成期 2013年9月18日～ 2014年3月17日
97円	93円	73円	75円	76円	76円
第25作成期 2014年3月18日～ 2014年9月16日	第26作成期 2014年9月17日～ 2015年3月16日	第27作成期 2015年3月17日～ 2015年9月15日	第28作成期 2015年9月16日～ 2016年3月15日	第29作成期 2016年3月16日～ 2016年9月15日	第30作成期 2016年9月16日～ 2017年3月15日
78円	83円	84円	84円	76円	76円
第31作成期 2017年3月16日～ 2017年9月15日					
78円					

* 作成期：6期分合計

第32作成期						設定以来合計
第186期 2017年10月16日	第187期 2017年11月15日	第188期 2017年12月15日	第189期 2018年1月15日	第190期 2018年2月15日	第191期 2018年3月15日	
13円	13円	13円	13円	12円	12円	4,467円



●分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第186期 2017年9月16日～ 2017年10月16日	第187期 2017年10月17日～ 2017年11月15日	第188期 2017年11月16日～ 2017年12月15日	第189期 2017年12月16日～ 2018年1月15日	第190期 2018年1月16日～ 2018年2月15日	第191期 2018年2月16日～ 2018年3月15日
当期分配金	13	13	13	13	12	12
(対基準価額比率)	0.171%	0.170%	0.172%	0.175%	0.170%	0.171%
当期の収益	13	13	11	10	10	11
当期の収益以外	—	—	1	2	1	0
翌期繰越分配対象額	785	786	784	782	781	780

(注) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。

(注) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

◇分配金の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド

《第16期》

決算日：2018年3月15日

(計算期間：2017年3月16日～2018年3月15日)

《運用報告書》

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

<p>運用方針</p>	<p>この投資信託は、信託財産の着実な成長と安定的な収益の確保を図ることを目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行うことを基本方針とします。 主として米国ジニーメイ・パス・スルー証券（政府抵当金庫パス・スルー証券）等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。</p>
<p>主要投資対象</p>	<p>主として「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド（米国籍投資法人）」、「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」および「フランクリン・テンプルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド（バミューダ籍投資法人）」等への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。</p>
<p>組入制限</p>	<p>外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p>



●最近5期の運用実績

決算期	基準価額		フランクリン U. S. ガバメント・ セキュリティーズ・ ファンド (米国籍投資法人) 組入比率		フランクリン・ テンプルトン・ インベストメント・ ファンズ -フランクリン U. S. ガバメント・ ファンド (ルクセンブルク籍投資法人) 組入比率		フランクリン・ テンプルトン U. S. ガバメント・ セキュリティーズⅡ・ ファンド (バミューダ籍投資法人) 組入比率		純資産総額
	円	騰落率 %	%	%	%	%			
第12期(2014年3月17日)	12,977	6.6	20.3	22.8	56.9	43,682			
第13期(2015年3月16日)	16,020	23.4	—	39.9	59.9	40,380			
第14期(2016年3月15日)	15,261	△4.7	—	39.7	60.1	31,684			
第15期(2017年3月15日)	15,318	0.4	—	36.5	63.2	27,325			
第16期(2018年3月15日)	14,187	△7.4	—	29.8	69.9	22,884			

(注) 当ファンドの投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

●当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		フランクリン U. S. ガバメント・ セキュリティーズ・ ファンド (米国籍投資法人) 組入比率		フランクリン・ テンプルトン・ インベストメント・ ファンズ -フランクリン U. S. ガバメント・ ファンド (ルクセンブルク籍投資法人) 組入比率		フランクリン・ テンプルトン U. S. ガバメント・ セキュリティーズⅡ・ ファンド (バミューダ籍投資法人) 組入比率	
	円	騰落率 %	%	%	%	%		
(期首) 2017年 3月15日	15,318	—	—	36.5	63.2			
3月末	15,081	△1.5	—	36.2	63.6			
4月末	15,023	△1.9	—	35.6	64.1			
5月末	15,046	△1.8	—	34.6	65.1			
6月末	15,140	△1.2	—	34.6	65.1			
7月末	14,944	△2.4	—	33.9	65.8			
8月末	15,005	△2.0	—	33.9	65.8			
9月末	15,314	△0.0	—	33.4	66.3			
10月末	15,351	0.2	—	31.6	68.1			
11月末	15,185	△0.9	—	31.0	68.8			
12月末	15,287	△0.2	—	30.3	69.4			
2018年 1月末	14,599	△4.7	—	30.0	69.7			
2月末	14,322	△6.5	—	30.1	69.7			
(期末) 2018年 3月15日	14,187	△7.4	—	29.8	69.9			

(注) 騰落率は期首比です。

●当期中の運用経過 (2017年3月16日～2018年3月15日)

◎運用実績

○基準価額の推移



当期末の基準価額は、期首の15,318円から1,131円値下がりして14,187円となりました。

○基準価額の主な変動要因

投資対象ファンドである「フランクリン・テンプルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」および「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズ・フランクリン U.S.ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」の分配金再投資基準価額が下落したこと、米ドルが対円で下落したことから、当ファンドの基準価額は下落しました。詳しくは「投資環境」をご参照ください。

なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

- ・投資を行っている米国高格付け証券 (米国ジニーメイ・パス・スルー証券等) からのインカム
- ・投資を行っている米国高格付け証券 (米国ジニーメイ・パス・スルー証券等) の価格変動

◎投資環境

(米国債券市場金利とジニーメイ・パス・スルー証券市場)



※出所：Bloomberg 米国10年国債利回りは、当期首の前営業日から期末の前営業日の期間（現地日付ベース）のものです。

米国10年国債利回りは、期前半は低下（価格は上昇）基調となる一方、期後半は上昇基調となりました。

期首から2017年4月中旬にかけては、3月半ばに開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）で予想通り追加利上げが実施されたものの年内の利上げペースの加速が示唆されなかったことや、トランプ政権の経済政策の先行きに対する懸念などを背景に米国10年国債利回りは2.2%を下回る水準まで低下しました。5月上旬にかけては、フランス大統領選挙に対する懸念の後退、トランプ政権の税制改革案に対する期待、米連邦準備理事会（FRB）による追加利上げの示唆などから、利回りは2.4%近辺まで反転上昇しました。しかし、軟調な米経済指標やトランプ政権とロシアとの不透明な関係をめぐる問題に対する懸念が広がったこと、6月のFOMCで事前の予想通り利上げが行われたものの米国の金融政策正常化が緩やかなペースで進むとの見方が強まったことなどから、米国10年国債利回りは6月下旬には2.1%台半ばまで低下しました。

7月上旬にかけては、6月下旬に欧州中央銀行（ECB）のドラギ総裁が利上げに前向きな発言をするなど欧米の中央銀行高官による金融政策についてのタカ派的なコメントが相次いだことに加え、堅調な米経済指標の発表を受け、米国10年国債利回りは一旦2.3%台後半まで上昇しました。しかしながら、北朝鮮情勢が緊迫化するなど地政学リスクが高まったことや、米国のインフレ鈍化を受け、利回りは再び低下し、9月上旬には年初来最低となる2.0%台前半まで低下しました。

期後半は一転、利回りは上昇基調となりました。10月下旬にかけては、米国経済の堅調さを背景としたF R Bによる追加利上げ観測の高まりや、次期F R B議長が金融引き締め推進派から指名される可能性への警戒感などから、米国10年国債利回りは2.4%台後半まで上昇しました。

11月以降は、米国の次期F R B議長の人選を巡る思惑や、12月のF O M Cが市場予想通りであったことから債券市場は動意に乏しく、12月中旬まで利回りは2.3%から2.4%程度のレンジ内での動きに終始しました。

その後、12月下旬に米税制改革法が成立したことを受け利回りは再び上昇し、2018年に入ると、米国経済の堅調さに加え、企業収益の改善期待から米国株式市場が堅調に推移したことや、期待インフレ率が上昇したことなどから利回りは上昇基調を強めました。

2月には、好調な1月の米雇用統計や歳出拡大に伴う米財政赤字懸念などを背景に、利回りはさらに上昇し、2.8%台前半の水準で当期末を迎えました。

結果的に、期を通じてみると、米国10年国債利回りは上昇しました。

当期、米国ジニーメイ・パス・スルー証券市場は下落しました。代表的な住宅ローン金利のひとつである米国連邦住宅貸付抵当公社の30年ローン金利（固定）の平均値は、2017年3月半ばの4.3%から2018年3月半ばには4.4%台後半まで上昇しました。住宅ローンの期限前返済による借り換え件数は減少しました。

(外国為替市場)



※為替レートは、三菱東京U F J 銀行対顧客電信売買相場の仲値です。

期首から2017年4月半ばまでは、3月半ばに開催されたF O M Cで年内の利上げペースの加速が示



唆されなかったことにより米長期金利が低下したことやトランプ大統領の政権運営への警戒感が高まったことから、米ドルの対円相場は期首の1米ドル114.83円から108円台前半まで円高ドル安が進みました。その後、5月半ばにかけては、4月下旬の米政府高官によるドル高容認発言や、フランス大統領選挙でのマクロン氏勝利などにより、1米ドル114円台まで円安ドル高が進みました。

5月半ば以降は、F R Bによる金融政策の正常化ペースが緩やかになるとの観測や米国の軟調なインフレ指標の発表を受け円高ドル安が進行しましたが、金融政策の正常化に前向きな欧米の中央銀行高官の発言を受けて米長期金利が上昇し日米金利差が拡大したことなどから、6月半ばから再びドル高基調となり7月上旬には1米ドル114円台半ばまで上昇しました。

7月半ば以降は、米長期金利の低下や7月下旬に開催されたF O M Cで低インフレの長期化に対する懸念が表明されたことなどを背景にドル安基調となりました。その後、9月には北朝鮮情勢の緊迫化や米国を襲ったハリケーンの影響に対する懸念から米長期金利が低下したことを受け、ドル円相場は一時1米ドル107円台前半まで円高ドル安が進みました。

期半ばの9月中旬から11月上旬にかけては、北朝鮮情勢への警戒感の後退や、9月のF O M Cでのバランスシート縮小開始決定、F R Bの追加利上げ観測の高まりなどから、米ドルは対円で上昇し、114円台半ば近くまで円安ドル高が進みました。その後、米税制改革の先行きに不透明感が高まったことなどを背景に、11月下旬には111円台まで米ドルは下落しました。年末にかけては1米ドル113円を挟む展開となりました。

2018年に入ると、日本銀行（日銀）が質的・量的緩和政策の出口戦略を模索しているとの思惑などを背景に円高ドル安が進み、その後も、世界的な株安を受けた投資家のリスク回避姿勢などから、円高ドル安が加速し、1米ドル106.04円で当期を終えました。

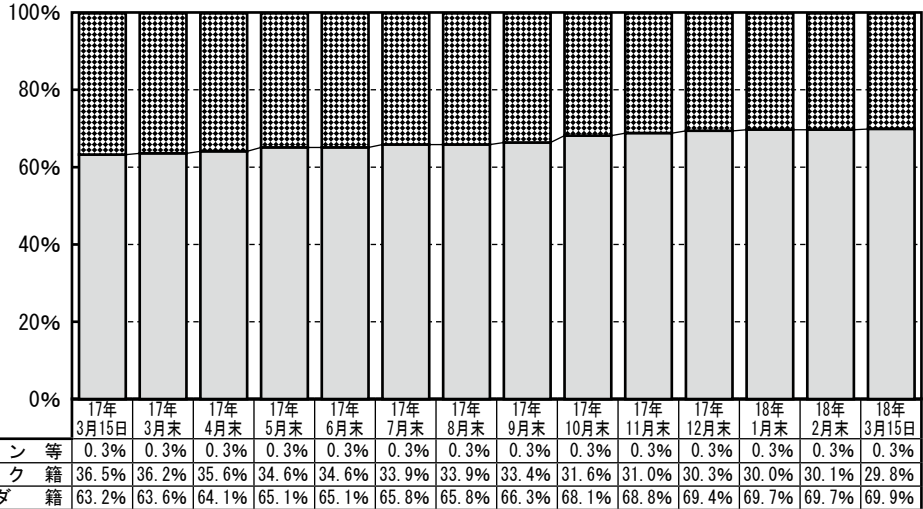
結果的に、期を通じてみると、米ドルは対円で下落しました。

○運用経過

（マザーファンド）

マザーファンドにおける当期末の投資対象ファンドの組入比率は、「フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド（バミューダ籍投資法人）」が69.9%、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」が29.8%、「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド（米国籍投資法人）」が0%となりました。

当期中の資産構成



※ルクセンブルク籍：フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ・フランクリン U.S.ガバメント・ファンド
 バミューダ籍：フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド

※構成比率は純資産総額に対する比率です。

※比率は四捨五入しておりますので、合計数字が100%にならない場合があります。

*投資対象ファンドのうち米国籍ファンドへの配分は0としています。米国における外国人投資家への税制優遇措置の継続が不透明な状況となったことを受け、マザーファンドに対する影響を勘案し、他の投資対象ファンドへ配分することが受益者の皆様の利益に資すると判断したためです。

(投資対象ファンド)

当期も、独自の分析手法を用いて証券価格が割安に推移していると判断される米国ジニーメイ・パス・スルー証券に着目して投資を行いました。

証券化プログラム*の違いによる証券価格形成に着目した投資では、当期はジニーメイIIの組入比率がジニーメイIの組入比率を上回りました。

また、クーポン別の組入れでは、4.0%と4.5%のクーポン**を持つ証券の比率を引き上げ、3.5%のクーポンを持つ証券の比率を引き下げましたが、組入れの中心は3.5%－5.0%のクーポンを持つ証券となっています。

*証券化プログラムとは、住宅ローンを条件（金利、ローンの対象となる住宅等、ローンの開始日など）によって分類し、米国ジニーメイ・パス・スルー証券を組成していく工程のことです。米国ジニーメイ・パス・スルー証券には、ジニーメイIとジニーメイIIの2種類の証券化プログラムがあります。

**クーポンとは、証券の額面に対する単年の利息の割合です。

※上記コメントは、ファンドにおける投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。



◎今後の運用方針 (マザーファンド)

ファンドは、「運用の基本方針」に基づき、主に「フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」に投資を行う方針です。「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」への投資については、米国における外国人投資家への税制優遇の状況を勘案しながら判断してまいります。

また、投資対象ファンド全体の組入比率は高位を維持します。為替ヘッジは行わないことを原則とします。

(投資対象ファンド)

2018年2月末時点において、米国国債利回りが5年債、10年債でそれぞれ2.6%、2.9%程度であったのに対し、米国ジニーメイ・パス・スルー証券の利回りは3.4%程度と相対的に魅力的な利回り水準にありました。

住宅ローン担保証券 (MBS) の割安感は薄れつつあるものの、MBSのファンダメンタルズや期限前償還は落ち着くとみています。一方、2018年はMBSにとって極めて重要な年になると考えています。米国ジニーメイ・パス・スルー証券を含むエージェンシーMBS (米国政府または政府関連機関が元利支払い保証している住宅ローン担保証券) 市場は、2018年もFRBのバランスシート縮小の影響を大きく受けるとみられます。2018年のMBSの純供給額は2017年と同水準になると思われませんが、FRBのバランスシート縮小に伴い、新たに1,700億ドル程度のMBSが市場に供給される見込みです。MBSの供給額は金融危機以降で最高水準になるとみられ、民間部門が吸収する必要があります。マクロ環境などのファンダメンタルズが健全であることから2018年前半については、この供給を十分吸収することは可能であると考えますが、年後半については、厳しい環境になる可能性があります。

米国ジニーメイ・パス・スルー証券は米国政府が元利金の期日通りの支払いを保証する住宅ローン担保証券であり、実質的に米国国債と同等の信用力を有すると考えられています。上記の投資環境の下において、より有利な投資機会の発掘のために同証券を構成する住宅ローンに対する精査を徹底してまいります。期限前償還リスクを適切に評価し、投資対象証券の本来の価値と市場価値との乖離を特定することで、より投資妙味のある証券への投資を行う方針です。

※上記コメントは、投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

●1万口当たりの費用明細

項目	当期 2017年3月16日～2018年3月15日		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
その他費用 (保管費用)	0 (0)	0.000 (0.000)	期中の平均基準価額は15,024円です。 $\text{その他費用} = \frac{\text{[期中のその他費用]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}}$ その他費用 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	0	0.000	

- (注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「マザーファンドの組入上位ファンドの概要」に表示しております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

●売買及び取引の状況(2017年3月16日から2018年3月15日まで)

外国投資証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	ルクセンブルク	フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズー フランクリン U.S.ガバメント・ファンド	千口 185	千米ドル 1,775	千口 2,406	千米ドル 23,100
	バミューダ	フランクリン・テンプレトン U.S. ガバメント・セキュリティーズII・ファンド	420	4,014	—	—

- (注) 金額は受渡し代金です。
- (注) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

●利害関係人との取引状況等(2017年3月16日から2018年3月15日まで)

当期中の利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

●投資信託財産と委託会社との間の取引状況(2017年3月16日から2018年3月15日まで)

委託会社が行う第二種金融商品取引業に係る業務において、当期中の投資信託財産との取引はありません。



●ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建外国投資証券の明細

ファンド名	期首(前期末) (2017年3月15日現在)	当期末 (2018年3月15日現在)			
	口数	口数	評価額		比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ルクセンブルク) フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ ファンズ-フランクリン U.S.ガバメント・ファンド	千口 9,094	千口 6,873	千米ドル 64,404	千円 6,829,414	% 29.8
(バミューダ) フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・ セキュリティーズⅡ・ファンド	15,741	16,161	150,786	15,989,372	69.9
合計	口数・金額 銘柄数 <比率>	24,835 2	23,034 2	215,190 -	22,818,787 -<99.7%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。(1米ドル=106.04円)

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

●投資信託財産の構成

(2018年3月15日現在)

項目	当期	期末
	評価額	比率
外国投資証券	千円 22,818,787	% 99.6
コール・ローン等、その他	81,603	0.4
投資信託財産総額	22,900,390	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 当期末における外貨建純資産(22,884,976千円)の投資信託財産総額(22,900,390千円)に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。(1米ドル=106.04円)

●資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年3月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	22,900,390,173円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	66,189,104
投 資 証 券 (評価額)	22,818,787,007
未 収 配 当 金	15,414,062
(B) 負 債	15,414,061
未 払 金	15,414,061
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	22,884,976,112
元 本	16,130,957,253
次 期 繰 越 損 益 金	6,754,018,859
(D) 受 益 権 総 口 数	16,130,957,253口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,187円

●損益の状況

(自2017年3月16日 至2018年3月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	615,740,410円
受 取 配 当 金	615,740,410
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△2,455,405,582
売 買 益	13,761,663
売 買 損	△2,469,167,245
(C) 信 託 報 酬 等	△ 67,866
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△1,839,733,038
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	9,487,000,847
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 893,248,950
(G) 計 (D + E + F)	6,754,018,859
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	6,754,018,859

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。

(注) (C)信託報酬等とは、海外保管銀行の費用です。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

(1) 期首元本額は17,838,092,803円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は1,707,135,550円です。

(2) 当ファンドの期末元本額 16,130,957,253円

元本の内訳

フランクリン・テンブルトン米国政府証券ファンド 16,130,957,253円

(3) 期末における1口当たり純資産額は1,4187円です。

フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズー フランクリン U.S.ガバメント・ファンドの運用状況について

2017年6月30日決算

(計算期間：2016年7月1日～2017年6月30日)

フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンドは、フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド（ファンド・オブ・ファンズ形式）が投資対象とする外国投資法人です。

当ファンドの決算は、年1回（毎年6月末）です。したがって、直前の計算期末である2017年6月30日時点までの運用状況をお知らせします。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

設定形態	ルクセンブルク籍投資法人／オープンエンド型／米ドル建て ^{注1}
投資目的	金利収入と元本の安全性の確保を投資目的とします。
主な投資戦略	主として米国政府および米国政府機関が発行あるいは保証する証券に投資を行うことにより、投資目的を達成することを企図しています。 * 資金動向、市況動向によっては、上記のような運用ができない場合があります。
関係法人	運用会社：フランクリン・アドバイザーズ・インク 管理会社：フランクリン・テンプルトン・インターナショナル・サービシーズ・エス・エー・アール・エル 保管銀行：JPモルガン・バンク・ルクセンブルク・エス・エー
費用 ^{注2}	申込手数料：かかりません 運用報酬：年0.40% 管理会社報酬：年0.20%以内 保管銀行報酬：年0.01%～年0.14%

(注1) 当ファンドのマザーファンドは、フランクリン U.S.ガバメントファンドのClass I(Mdis)（米ドル建て）に投資します。

(注2) 当ファンドのマザーファンドが投資を行うClass I(Mdis)のものです。

この他に監査費用、組入れ有価証券の売買委託手数料等取引に要する費用等がかかります。

フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズー
 フランクリン U.S.ガバメント・ファンド
 損益および純資産変動計算書
 2017年6月30日に終了した計算期間

(米ドル)

期首純資産	1, 211, 181, 698
収益	
債券利息（税引後）	29, 554, 752
預金利息	2, 009
その他収益	30, 572
収益合計	29, 587, 333
費用	
運用報酬	6, 065, 513
管理会社報酬	2, 360, 612
保管銀行報酬	35, 548
監査費用	13, 754
その他費用	4, 168, 164
費用合計	12, 643, 591
関係法人からの費用戻入	(168, 787)
純費用合計	12, 474, 804
投資純収益	17, 112, 529
投資有価証券売買に係る実現純損失	(10, 011, 850)
外国為替先渡契約に係る実現純損失	(2, 596, 588)
外国為替取引に係る実現純利益	4, 543
当期実現利益	4, 508, 634



投資未実現評価損	(25,642,527)
外国為替先渡契約未実現評価益	3,249,684
外国為替取引未実現評価益	3,249,697
	<hr/>
運用による純資産の減少額	(14,634,512)
元本異動等	
追加設定額	519,271,873
解約額	(844,094,873)
追加設定・一部解約時の収益調整	(455,085)
	<hr/>
	(325,278,085)
分配金額	(16,223,228)
	<hr/>
元本異動による純資産の減少額	(341,501,313)
期末純資産	855,045,873
	<hr/> <hr/>

フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド

数量/額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
その他規制市場で取引される譲渡可能有価証券					
公社債					
アセットバック証券					
253,482,756	GNMA II, SF, 3.50% 12/20/46 - 05/20/47	USA	USD	262,849,140	30.74
71,368,051	GNMA, SF, 5.00% 07/15/33 - 08/15/40	USA	USD	78,868,788	9.22
66,100,363	GNMA II, SF, 4.50% 05/20/33 - 10/20/44	USA	USD	70,851,222	8.29
65,446,959	GNMA, SF, 4.00% 10/15/40 - 08/15/46	USA	USD	69,379,624	8.11
61,434,111	GNMA II, SF, 4.00% 05/20/40 - 03/20/47	USA	USD	65,015,591	7.60
52,563,675	GNMA II, SF, 3.50% 08/20/42 - 06/20/43	USA	USD	54,678,747	6.40
40,637,296	GNMA, SF, 4.50% 03/15/39 - 04/15/41	USA	USD	44,100,388	5.17
28,074,804	GNMA, SF, 6.00% 10/15/23 - 01/15/38	USA	USD	32,118,134	3.76
27,701,880	GNMA II, SF, 5.00% 10/20/32 - 07/20/44	USA	USD	30,432,728	3.57
26,878,876	GNMA, SF, 5.50% 11/15/28 - 11/15/39	USA	USD	30,206,636	3.53
21,654,590	GNMA II, SF, 3.00% 10/20/46	USA	USD	21,900,827	2.56
15,517,548	GNMA II, SF, 5.50% 05/20/34 - 01/20/36	USA	USD	17,349,134	2.04
13,210,355	GNMA II, SF, 6.00% 06/20/34 - 07/20/39	USA	USD	14,986,592	1.76
12,175,160	GNMA, SF, 6.50% 11/15/23 - 07/15/38	USA	USD	13,733,087	1.61
5,151,173	GNMA II, SF, 6.50% 03/20/27 - 10/20/38	USA	USD	5,968,547	0.70
4,340,063	GNMA, SF, 7.00% 03/15/22 - 09/15/32	USA	USD	4,721,493	0.55
3,739,018	GNMA, SF, 3.50% 04/15/43 - 05/15/43	USA	USD	3,900,214	0.46
2,567,521	GNMA II, SF, 7.00% 05/20/26 - 03/20/33	USA	USD	3,048,139	0.34
1,814,704	GNMA, SF, 7.50% 12/15/21 - 08/15/33	USA	USD	2,069,935	0.22
1,364,071	GNMA, SF, 8.00% 11/15/19 - 12/15/30	USA	USD	1,482,254	0.17
1,206,809	GNMA II, SF, 7.50% 08/20/22 - 09/20/32	USA	USD	1,425,683	0.16
1,152,765	GNMA II, 6.00%, 03/20/34 - 05/20/34	USA	USD	1,267,150	0.16
601,582	GNMA II, SF, 8.00% 06/20/22 - 07/20/31	USA	USD	700,822	0.07
436,996	GNMA II, 6.50% 04/20/34	USA	USD	483,311	0.06
349,643	GNMA, SF, 9.00% 04/15/19 - 03/15/25	USA	USD	400,582	0.05
136,102	GNMA II, SF, 8.50% 11/20/21 - 05/20/29	USA	USD	158,458	0.02
123,114	GNMA, SF, 8.50% 09/15/19 - 06/15/28	USA	USD	133,933	0.02
125,778	GNMA, 7.50% 04/15/31	USA	USD	130,042	0.02
65,452	GNMA, SF, 10.00% 09/15/18 - 03/15/25	USA	USD	68,208	0.01
45,103	GNMA, 8.00% 01/15/31	USA	USD	45,983	0.01
41,505	GNMA, SF, 9.50% 08/15/18 - 06/15/25	USA	USD	41,757	0.00
27,080	GNMA II, 8.00% 03/20/27	USA	USD	30,375	0.00

数量／額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
23,670	GNMA II, SF, 9.50% 07/20/18 - 07/20/25	USA	USD	24,647	0.00
9,980	GNMA, SF, 7.80% 02/15/20	USA	USD	10,011	0.00
8,356	GNMA, 6.00% 11/15/28	USA	USD	9,427	0.00
6,127	GNMA, SF, 8.625% 10/15/18	USA	USD	6,202	0.00
6,035	GNMA, SF, 7.75% 03/15/27	USA	USD	6,120	0.00
5,681	GNMA I, 9.50% 10/15/18 - 11/15/21	USA	USD	6,076	0.00
1,886	GNMA, SF, 10.50% 06/15/19 - 04/15/25	USA	USD	1,944	0.00
41	GNMA, SF, 11.00% 04/15/21	USA	USD	41	0.00
				832,611,992	97.38
	国債証券及び地方債証券				
1,800,000	U.S. Treasury Bond, 4.75% 02/15/37	USA	USD	2,401,384	0.28
	1年以内に償還する証券				
2,404	GNMA, SF, 9.50% 09/15/17 - 06/15/18	USA	USD	2,412	0.00
2,022	GNMA II, SF, 9.50% 09/20/17 - 10/20/17	USA	USD	2,026	0.00
869	GNMA, SF, 8.50% 10/15/17 - 05/15/18	USA	USD	871	0.00
239	GNMA, SF, 10.50% 12/15/17	USA	USD	240	0.00
167	GNMA II, SF, 7.50% 12/20/17	USA	USD	168	0.00
141	GNMA, SF, 10.00% 09/15/17 - 12/15/17	USA	USD	141	0.00
15	GNMA, SF, 9.00% 11/15/17	USA	USD	15	0.00
				5,873	0.00
	公社債計			835,019,249	97.66
	小計			835,019,249	97.66
	合計			835,019,249	97.66

フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・ セキュリティーズⅡ・ファンドの運用状況について

2017年9月30日決算

(計算期間：2016年10月1日～2017年9月30日)

フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンドはフランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド（ファンド・オブ・ファンズ形式）が投資対象とする外国投資法人です。

当ファンドの決算は、年1回（毎年9月末）です。したがって、直前の計算期末である2017年9月30日時点までの運用状況をお知らせします。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

設定形態	バミューダ籍投資法人／オープンエンド型／米ドル建て
投資目的	金利収入の確保を投資目的とします。
主な投資戦略	純資産総額の少なくとも80%を米国政府証券に投資を行います。現在、実質的にその資産のすべてを米国ジニーメイ・パス・スルー証券に投資しています。 また、米国政府の十分な信頼性と信用に裏付けられたその他の米国政府の証券（例えば、ストリップス債（treasury strips）、長期国債（treasury bonds）、中期国債（treasury notes）など）にも投資することがあります。短期の運用対象には、短期の政府証券や現金が含まれます。また、米国政府発行の証券を担保として利用するレポ取引（repurchase agreements）を行うことがあります。 * 資金動向、市況動向によっては、上記のような運用ができない場合があります。
関係法人	運用会社：フランクリン・アドバイザーズ・インク 管理事務代行会社：フランクリン・テンプレトン・サービシーズ・エルエルシー 名義書換事務代行会社：フランクリン・テンプレトン・インベストメント（アジア）リミテッド 保管銀行：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン
費用 <small>注</small>	申込手数料：かかりません 運用報酬：年0.40%以内 管理事務代行報酬：年0.10%以内 名義書換事務代行報酬：年0.05%以内

(注) この他に保管銀行報酬、監査費用、組入れ有価証券の売買委託手数料等取引に要する費用等がかかります。

損益計算書
2017年9月30日に終了した計算期間

(米ドル)

投資収益

債券利息	6,365,393
一部償還による損失	(901,942)
投資収益合計	<u>5,463,451</u>

費用

運用報酬	612,765
管理事務代行報酬	153,191
名義書換事務代行報酬	76,596
保管銀行報酬	1,315
その他費用	141,923
費用合計	<u>985,790</u>
純投資収益	<u>4,477,661</u>

投資有価証券に係る実現純損失	(791,507)
投資有価証券に係る未実現評価損	(4,057,644)
当期実現及び未実現純利益（損失）	<u>(4,849,151)</u>
運用の結果による純資産の純減少額	<u>(371,490)</u>

組入資産の明細

2017年9月30日現在

元本額 (米ドル) 評価額 (米ドル)

米国国債および米国機関債 3.4%		
U. S. Treasury Bond, 4.75%, 2/15/37	2,800,000	3,717,328
U. S. Treasury Note, 2.375%, 5/15/27	1,520,000	1,525,908
米国国債および米国機関債計 (Cost \$5,327,594)		<u>5,243,236</u>
モーゲージ担保証券 92.7%		
ジニーメイ (米国政府抵当金庫) 固定金利証券 92.7%		
GNMA I SF 15 Year, 6.50%, 5/15/18	43	43
GNMA I SF 30 Year, 4.00%, 10/15/40 - 8/15/46	1,357,395	1,442,086
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 7/15/39 - 11/15/39	1,157,041	1,241,642
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 2/15/40 - 9/15/40	1,369,888	1,470,115
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 2/15/41	1,736,859	1,869,453
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 4/15/41 - 6/15/41	1,217,019	1,329,154
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 4/15/33 - 5/15/33	1,188,810	1,307,753
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 5/15/33 - 7/15/33	1,188,690	1,309,307
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 7/15/33 - 8/15/33	1,304,460	1,437,710
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 8/15/33	975,062	1,073,801
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 8/15/33 - 9/15/33	1,227,847	1,363,478
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 9/15/33	576,674	642,402
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 9/15/33 - 11/15/33	1,219,488	1,359,305
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 11/15/33 - 3/15/34	1,343,713	1,477,326
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 3/15/34 - 5/15/34	1,114,186	1,221,728
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 1/15/32 - 2/15/33	1,245,303	1,405,914
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 2/15/33 - 5/15/33	1,319,254	1,481,784
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 5/15/33 - 7/15/33	1,301,699	1,464,688
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 7/15/33 - 1/15/34	1,261,463	1,419,162
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 2/15/34 - 4/15/34	948,569	1,090,207
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 6/15/34	1,010,461	1,151,700
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 2/15/24 - 9/15/32	1,130,729	1,286,801
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 9/15/32 - 2/15/33	1,234,221	1,410,764
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 2/15/33 - 11/15/33	572,383	664,405
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 12/15/33	772,498	903,765
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 4/15/34	2,130,657	2,498,964
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 10/15/34 - 11/15/34	1,087,799	1,251,003
GNMA I SF 30 Year, 6.50%, 12/15/23 - 9/15/32	1,259,648	1,429,665
GNMA I SF 30 Year, 6.50%, 11/15/34	208,361	230,131



FRANKLIN TEMPLETON
INVESTMENTS

	元本額 (米ドル)	評価額 (米ドル)
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 5/15/22 – 11/15/28	1,079,387	1,179,011
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 5/15/28 – 2/15/31	891,678	1,031,699
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 9/15/31 – 10/15/31	706,356	837,500
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 4/15/32	1,975,711	2,350,286
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 5/15/32	521,921	621,290
GNMA I SF 30 Year, 7.50%, 2/15/23 – 2/15/32	468,420	505,935
GNMA I SF 30 Year, 7.50%, 2/15/32	1,571,011	1,905,733
GNMA I SF 30 Year, 7.50%, 3/15/32	134,367	158,787
GNMA I SF 30 Year, 8.00%, 1/15/22 – 3/15/32	566,349	609,863
GNMA I SF 30 Year, 8.25%, 5/15/20	1,386	1,433
GNMA I SF 30 Year, 8.50%, 9/15/18 – 2/15/32	328,758	362,083
GNMA I SF 30 Year, 9.00%, 11/15/17 – 9/15/30	247,427	273,213
GNMA I SF 30 Year, 9.50%, 11/15/17 – 8/15/18	1,866	1,986
GNMA I SF 30 Year, 10.00%, 10/15/21	216	232
GNMA II SF 30 Year, 3.00%, 12/20/42	452,037	461,543
GNMA II SF 30 Year, 3.00%, 7/20/47	2,113,589	2,145,446
GNMA II SF 30 Year, 3.00%, 9/20/47	2,000,000	2,030,145
GNMA II SF 30 Year, 3.00%, 10/01/47	765,000	775,459
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 4/20/43	669,576	699,986
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 5/20/43	1,212,866	1,267,950
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 6/20/43	1,864,580	1,949,265
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 9/20/43	2,775,728	2,901,804
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 2/20/44	2,414,109	2,523,767
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 3/20/47	2,903,931	3,022,920
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 5/20/47	16,807,726	17,496,429
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 7/20/47	4,242,229	4,416,056
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 9/20/47	8,281,549	8,620,889
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 1/20/41 – 2/20/41	1,004,906	1,067,095
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 7/20/41 – 8/20/41	1,406,318	1,492,240
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 9/20/41 – 10/20/41	941,618	998,801
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 11/20/41	1,140,810	1,210,105
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 12/20/41 – 2/20/44	823,659	872,950
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 2/20/44	694,410	737,390
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 3/20/47	8,118,223	8,573,196
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 5/20/33 – 5/20/34	1,367,878	1,471,551
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 7/20/34 – 8/20/34	1,138,713	1,225,240
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 10/20/34 – 5/20/41	1,056,596	1,137,688
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 6/20/41	2,173,957	2,338,251

フランクリン・テンブルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド

	元本額 (米ドル)	評価額 (米ドル)
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 9/20/41	1,545,955	1,662,845
GNMA II SF 30 Year, 5.00%, 9/20/33	5,450,088	6,031,055
GNMA II SF 30 Year, 5.00%, 11/20/33	1,862,194	2,036,199
GNMA II SF 30 Year, 5.00%, 12/20/33 - 3/20/34	898,903	982,872
GNMA II SF 30 Year, 5.50%, 6/20/34	4,687,057	5,243,509
GNMA II SF 30 Year, 6.00%, 10/20/28 - 11/20/33	509,159	581,278
GNMA II SF 30 Year, 6.00%, 12/20/33 - 4/20/34	1,092,975	1,240,825
GNMA II SF 30 Year, 6.00%, 4/20/34 - 7/20/39	1,010,527	1,107,219
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 10/20/25 - 9/20/31	612,455	715,509
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 10/20/31 - 8/20/32	1,085,735	1,273,670
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 8/20/32 - 2/20/33	1,164,558	1,364,713
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 11/20/33	671,360	792,142
GNMA II SF 30 Year, 7.00%, 1/20/34	245,230	263,923
GNMA II SF 30 Year, 7.50%, 10/20/23 - 1/20/31	1,039,283	1,237,566
GNMA II SF 30 Year, 7.50%, 2/20/31 - 12/20/31	843,599	1,009,716
GNMA II SF 30 Year, 8.00%, 9/20/26 - 7/20/31	352,772	407,120
GNMA II SF 30 Year, 8.50%, 11/20/21 - 11/20/31	232,707	265,427
GNMA II SF 30 Year, 9.00%, 11/20/24 - 1/20/27	192,885	211,671
GNMA II SF 30 Year, 9.50%, 5/20/19 - 12/20/21	7,973	8,168
GNMA II SF 30 Year, 10.00%, 9/20/20 - 9/20/21	1,279	1,302
モーゲージ担保証券計 (Cost \$135,108,153)		<u>141,946,202</u>
小計		<u>147,189,438</u>
短期金融商品 (Cost \$6,290,000) 4.1%		
レポ取引 4.1%		
Bank of America Securities LLC, 0.99%, 10/02/17 (Maturity Value \$6,290,518)	6,290,000	6,290,000
Collateralized by U.S. Treasury Note, 1.75%, 5/31/22 (valued at \$6,419,430)		
合計 (Cost \$146,725,747) 100.2%		<u>153,479,438</u>



FRANKLIN TEMPLETON INVESTMENTS

フランクリン テンプルトン インベストメンツは、創業以来
ベンジャミン・フランクリンの肖像画をロゴマークとしております。

創業者ルーパート・H・ジョンソン Sr.は、

“With money and financial planning, prudence comes first.”

(お金を増やそうとするときに一番大切なのは、用心深さである。)

というベンジャミン・フランクリンのビジネス哲学に深く感銘し、

アメリカ建国の父でもあり、偉大な科学者、

そして優れた投資家でもあった彼の名を社名に冠しました。

ベンジャミン・フランクリンの肖像画を用いたロゴマークは、

ご投資家の皆様にとって、

フランクリン テンプルトン インベストメンツの資産運用サービスに対する

信頼と安心の象徴となっております。